

11.7 施設・設備

【評価項目 13-0-1】 施設・設備等の整備

- (必須要素) 大学院研究科の教育研究目的を実現するための施設・設備等諸条件の整備状況の適切性
- (必須要素) 大学院専用の施設・設備の整備状況
- (選択要素) 大学院学生用実習室等の整備状況

【評価項目 13-0-2】 先端的な設備・装置

- (選択要素) 先端的な教育研究や基礎的研究への装備面の整備の適切性
- (選択要素) 先端的研究の用に供する機械・設備の整備・利用の際の、他の大学院、大学共同利用機関、附置研究所等との連携関係の適切性

【評価項目 13-0-5】 本校以外に拠点を持つ大学院の施設・設備等

- (選択要素) 本校以外の場所にも拠点を置き、教育研究指導を行う大学院における施設・設備の整備の適切性

【評価項目 13-0-8】 組織・管理体制

- (必須要素) 施設・設備等を維持・管理するための責任体制の確立状況
- (必須要素) 実験等に伴う危険防止のための安全管理・衛生管理と環境被害防止の徹底化を図る体制の確立状況

＜開設時に設定した目標＞

学生が充実した学習を行うためには、優れた教育課程と充実した授業内容を提供することが重要であるが、それを実現するための教育環境を提供することが、基礎的な条件として重要である。

経営戦略専攻の設立趣旨とその目的を実現するために、その施設・設備として、次のように整備する。

経営戦略専攻の教育活動は、主に「大阪梅田キャンパス」として開設する梅田アプローチタワー（14階：1218.3㎡）で行われる。また、大阪梅田キャンパスの補完的施設・設備として、西宮上ヶ原キャンパスにおいても各種の施設・設備を用意する。大阪は、ビジネスの最前線であり、そのビジネスの現場にビジネススクールとして開設するのが、本専攻の主眼である。

会計専門職専攻の教育活動は、主に「西宮上ヶ原キャンパス」で行われる。また、西宮上ヶ原キャンパスの補完的施設・設備として、「大阪梅田キャンパス」として開設する梅田アプローチタワーにおいても各種の施設・設備を用意する。大阪は、ビジネスの最前線であり、そのビジネスの現場においてもアカウンティングスクールとして授業科目を開設するのが、本専攻の特色である。

（現状の説明）

1. 大阪梅田キャンパス（梅田アプローチタワー）

大阪市北区の阪急電鉄梅田駅至近距離に、161mの高層ビル「アプローチタワー」（ホテル阪急インターナショナルを含む都市型複合ビル）があり、その14階全スペース（1218.3㎡）を専用使用する。施設・設備は次のとおりである。

教室：大教室（174㎡:96人）1室

中教室（87㎡:42人、89㎡:45人）2室

小教室（51㎡:24人、45㎡:24人）4室

学生用共同研究室：45㎡・20席（パソコン20台、プリンター2台）

図書資料室：113㎡・22席（書架、複写機、AVブース等）

約3400冊の図書を収納する。

パソコンコーナー：約118㎡・32席

（パソコン32台、プリンター2台、複写機）

教員控室：32㎡・12席

学生控室：72㎡・28席

学生応対室：12㎡・1室、21㎡・1室

学生の自習スペースとしては、学生用共同研究室の20席や、パソコンコーナーの32席、また、各教室には情報コンセントと電源が設置されており、授業の空き時間帯には、貸出用ノートパソコン50台を借り出して利用できるよう整備されている。

2. 西宮上ヶ原キャンパス

大阪梅田キャンパスの補完的施設・設備として次のとおり整備する。ただし、この施設・設備は、同研究科・会計専門職専攻と共同利用となる。

(1) 全学共用棟（1・2・3・4階）

教室：大教室（143㎡:171人、121㎡:154人）2室

中教室（91㎡:51人）3室

小教室（61㎡:30人）2室（内1室パソコン30台）

図書資料室：124㎡・17席

（書架、複写機、AVブース、パソコン12台、プリンター）

約2400冊の図書を収納する。

教材準備室：22㎡（パソコン3台、プリンター、複写機）

教員用個人研究室：1室あたり22㎡・36室

（注）任期の定めのない専任教員は1人1室とし、任期の定めのある専任教員（みなし専任を含む）は2人1室とする。2人1室の場合、原則として出講曜日の異なる教員を組み合わせることとする。

その他に、研究科長室、講師控室、会議室、事務室、印刷室を設ける。

(2) 大学院1号館（3階）

学生用共同研究室

：100㎡・40席 1室（パソコン10台、プリンター）

75㎡・30席 2室（各室パソコン10台、プリンター）

（合計 100席）

学生の自習スペースとしては、大学院1号館に学生用共同研究室100席を用意し、全席情報コンセントと電源が設置されており、設置されたノートパソコン以外にパソコンを持ち込んでの自習も可能にしている。また、キャンパス内の大学図書館にも自習スペースがあり、学習環境は十分整備されている。

（点検・評価の結果）

経営戦略専攻では、施設・設備において特に大きな問題点はないが、会計専門職専攻で

は、自習室の量的確保をする必要がある（現状では不足は生じていない）と思われるので、2学年が揃う来年度には、現状より増設する必要がある。

（改善の具体的方策）

自習室の確保は、共通利用の大学院1号館の利用状況を十分に把握しながら、ロースクールとの利用の関係もあるので、大学院1号館の利用改善と全学共用棟に可能な範囲で自習室の増設を検討する。